THE WOMAN'S WEEKLY

第四巻第十一號

大正七年三月十五日發行 (毎週發行金曜日)

大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□時事週評……小橋三四子
□人と自然……高嶋平三郎
□私の受けた感化「税所敦子刀自」……税所篤子
□春の思ひ出……二階堂さくよ子
□子供部屋の話「わが飼牛！」……
□讀者から……
□細民窟での教化十五年……佳子
□食品展覽會を見る……記者
□女學校印象記「小學女教員養成の學校二種」……記者
□常設市場を早く設けたい……目賀田逸子
□落第といふ事……奥きく子
□彼岸料理……手塚かれ子
□よいハナシ「青い花の國」……宮本幾美子
□小說「手紙」……渡邊たみ子
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

救命瓶療法普及會主意書

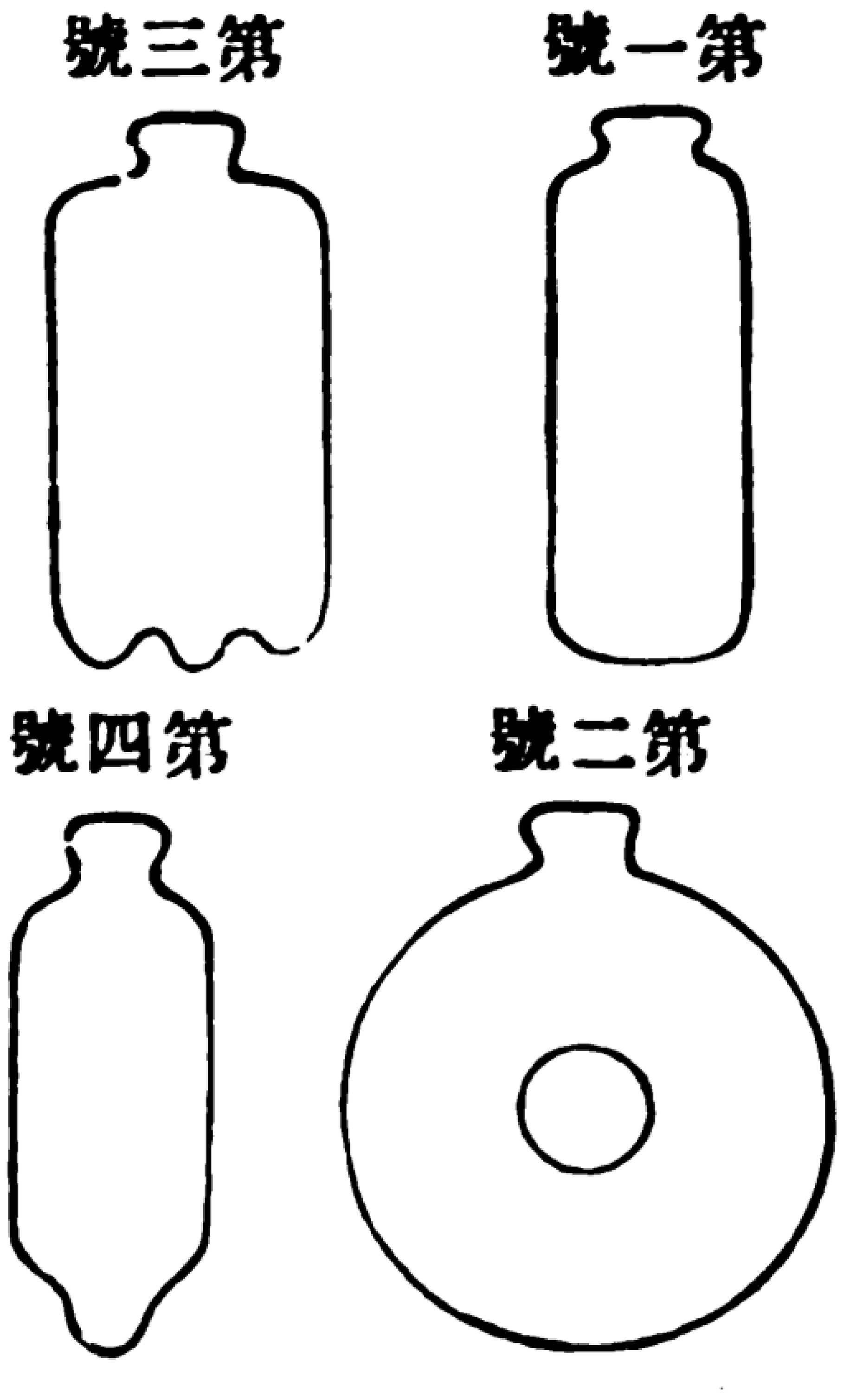
文明の進歩に伴ひ病魔になやまさるゝ人の多く成り行く今日、これを未發に防ぎ、又已に種々の病に苦みつゝある御方に、最も手輕に且つ一秒時も早く其の苦痛を去り、速に全快なされる様な方法の、御研究をお勸め申す事は必要のことゝ存じます。人が身體不健康であり、其結果短命にしてこの世を去られるが如きは、實に國家の不幸不經濟これより大なるは御座いません。

私は及ばずながら心身ともに此の如き方々を御救ひ申さんと心に期し、諸科學を基として三十餘年來研究に研究を重ね且つ多くの實驗を積みたる結果遂に救命術なる獨特の治療法を完成することが出來ました。それにつけても此救命術を社會の全般に渉つて廣く及ぼしたいとの赤誠より一種の治療器を發明しました。これは救命術の秘法を應用して作つたものでありますから、名づけて『救命瓶』と申してゐます。其使用法は又頗る簡單の上に安全でありますから、何人にも直ぐ實行し得られるので御座います。此の療法を御用ひになれば、すべての病氣を未發に防ぎ急性の神經痛、胃痙攣、子宮痙攣、下痢等より起る非常なる御苦しみも、僅か數十分にして止めることが出來ます。又この瓶療法で不治の難症も、拭つた樣に全治されます。既に此方法により痼疾を治せられた方々の中には、貴衆兩院議員、華族令夫人令孃諸官省長官、銀行會社の重役、軍人、教育家、宗教家、博士、學士、學生があり、隨分多方面に渉つて枚擧に遑なき程で御座います。御姓名は本會の記錄に存してあります。

本瓶四種の凸起は此病を治するに當り身體の各部に適合せしむるよう變形に製作せられてありますから各種の病を治療するに實に便宜で御座います。又本瓶に湯を容れて心臟を中心として血液を心臟に贈るように輕壓動法、中壓動法、强壓動法を行へば筋肉の强脹を弛め、硬結を解かし、瓦斯の排泄を促がし、淋巴液の流れを克くし、血液の循環を旺んにして內臟諸機の働きを高め身心を爽快ならしむ。殊に神經痛、リョウマチス、胃腸病、腦病、ヒステリー患者の如き治癒の効を奏すること著しくあります

次に本瓶は輕便なる湯タンポにして旅行用として最も便宜であります。

救命瓶の形狀



救命瓶療法講習會

講習事項　學理を概要に止め實地療法を主とす

一全身の療法、風邪、頭痛、腹痛止方、胃けいれん止方、通じの附方、下痢止方、手足の痛、肩のこり、打身、腦病療法、耳下腺炎扁頭腺炎療法、顏美容術、眼病手當、耳の療法、齒痛止方、咳止方、神經痛、神經衰弱、リウマチス、半身不隨療法、乳のこり手當、子宮病療法、月經不順、産前産後の手當、小供腦膜及肺炎手當、小供耳下腺炎手當、小供百日咳の手當。

▲特別講習　入會金貳圓　講習料壹回壹圓以上　午前八時より午後五時迄の內

▲速成講習　入會金壹圓　講習料壹圓五拾錢　(但五日間)　午前九時より十一時まで　午後一時より四時迄

▲出張敎授　御希望に相應可申候

▲研究會　毎月日曜、土曜、午後より開催す、一ヶ月會費金貳圓、本會を終了後技術上達の方には修業證を授與し御望により本會又は病院にて採用す。

(東京市麴町區飯田町六ノ一七)(電話四九〇二)

▲救命瓶の價　並製金參圓　特製金五圓　送費(內地金卅錢。滿、鮮、臺、樺、金五拾錢。海外金壹圓)

外學生用として、僅か二つで凡ての用途を兼ねたものがあります。價は金壹圓四十錢、送費は同前

救命瓶療法普及會　會長　中村松乃

東京市麴町區飯田町六丁目(電話四九〇二)

救命瓶　救命肩打機　製造販賣元　救命堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□滿々たる物質慾

昨年九月より福岡地方裁判所に於て大活動を初めたる一大疑獄は、押川長官の自殺が一導火線を與へたるものか、近く名譽ある高等官、會社重役等が續々收監されました。この打撃に醒めて、今更ら廉耻の念に堪へ難ねたる彼れ等の中には、自殺したる者、長官の外になほ數名ありと聞きます。何れも今となつてはこの拭ふべからざる汚辱を蒙るには、餘り小さい欲に打勝てなかつた事をどんなに殘念に思つて居ることでせう。妻子もこの夫を父を、不法の榮華を貪らんとの夢より、なぜ早く救ひ出すことが出來なかつたらうと、口惜し涙にくれて居るでせうと、氣の毒の至りに覺えます。今日のやうに彼方此方に一躍巨萬の富を握り、天下の覇者となる者ある面白い時代にあつては、野心滿々たる男子が、功名心に驅らるゝは無理ならぬ事で、稍ともすると物質慾は徳義の眼を覆うて、其の成功を急がせやうとします。此の危機を支へて、後ろに立歸らせる何ものかゞなければ、いつ同じ立場に身を置いて、等しい犯罪を行はないとも限りませぬ。たとへ「全世界を得とも其靈を失はゞ何の益あらんや」と心に強く銘して世に起つにあらざれば、卑怯故に罪を犯さずといふに止り手腕ある者は、到底誘惑に陷らずには止みますまい。人々の後悔に先つて滿々たる物質慾を轉じて、わが人格を建設する偉大なる事業あることを覺え、これに力を注がせたいものであります。更らに其の家族は、誘惑の多い社會に起つ男子に、第一の務むべき事を明らかにして行く事が出來る丈けの修養を以て、助けて行くこそ、眞に内助の第一の義務であると心得たいものであります。

□過失は酒故か

七日夜芝松本町に於て貴族院議員男爵徳川厚氏が、自ら自動車を運轉して荷車を曳ける通行人を轢き、逸走したる事件は、端なくも社會の大きな非難を招きました。過失は何人も免れぬ處故、もしその際直ちに禮を盡して手當慰藉の方法を講ずれば被害者の恨みは、幾倍の厚い感謝に代つたでありませうに、強者を楯に其の罪狀を晦まさんとして、一旦は逸走し、其の筋の訊問に對しては、酒故の過失に歸さうとして、どこ迄も其の罪を免がれやうとされたのは、暗い仕打ちと申さねばなりませぬ。お天下樣の車の下敷きになるなどを、却つて罰した封建時代は遙か昔に去つて、今は四民平等の權利を保護されて居ります。人權保護が法律に在つても、なほ平民の命が稍ともすれば或る階級に安價に取扱はれて居る事が偶々この事件によつて語られて居ります。且貴い人命を傷くる過失が、酒故に起つたとすれば、酒は直ちに法律上に禁じなければならぬ事は、強いたる議論ではありますまい。堂々たる紳士がこうした不合理を敢へてして、耻ぢない我が社會は、なほ文明國の名を負ふに堪へませぬ。私共に凡ての不合理を、我が社會から早く取除いて、住みよい國に致したいものであります。

—三四子—

* * * *

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人と自然

高島平三郎

□地勢によつて成る社會

人は自然の中に生れ、自然の中に育ち、また自然の中に、歸り行くので、到底自然の子たるを免れない。自由意志を抱いて居るとは云へ、自然界の中で踠いて居り、間接には自然の影響を受けて居る事は否まれない。

アリストートル以來、人間は社會的の動物だと云ふが、其の社會を形成するには、地勢は最も大きい關係を持つて居る。山間には大きな團體を作ることは出來ないので、從つて割據の姿となるが、平野は交通の便があつて、人間の生存に都合よく、自然に大きな聚團を作るに至るのである。このやうに社會も亦自然の制裁を受けて居る。

□職業の相違も

生活の狀態も、平野、山間、高原によつて、皆同一ではない。高原の人は牧畜を主にして、食物・飲料、焚物迄、これ等の畜類から取つて居る。平野ならば農業自然に發達し、河海の沿岸は商工業が起るのは自然の勢ひである。勿論人智の發達と共に、多少これに反する場合も起つて來るが、根底はこの原則に出でない。

□人文の發達も

人文の發達も自然から受ける事は申す迄もない。かのメソポタミヤの平原のチユグリス、ユーフレツチスの兩河の注ぐ所が人間の最初の起源であつたと云ふ事や、ナイル川の氾濫する埃及、ガンヂス河の流るゝ印度、支那の揚子江の流域等は、皆文化の最も早く開けた處であつた。チユグリス、ユーフレチスに發足した人文は東西に分れ、各特異の發達をせる事幾千萬年の後、西洋の文化は洋々たる海を越えて、東洋の精華たる日本の文明と六十餘年の昔握手して、此處に再び世界の人類は一つになつた。我々の子供の時代には五種の人種と習つたが、今日科學上からは、人類は只一種であると云はれて居るのは、當然である。

□氣候と人類

此の外人間が絶えず自然から影響を受けて居る事がある。それは氣候である。人類は最初簡單な生活の出來る處に住んで居つた。且つ人類その者の全身にも毛が生えて居つて、外界の氣候の刺戟を保護して居つた。それ故初め人間の蕃殖したのは、熱帶、少くとも亞熱帶で、衣を織らずともよく、耕さずとも食べられる土地であつた。其處に四つ足で這ひつゝあつた人猿は、偶々敵の襲來を恐れて、木の枝に掴まつて、遠方を望んだのが習慣となつて、遂に立つて歩む人間に變化したと云はれる。我々の內臟は、這うに都合よく出來て居るのに、不自然に起つやうになつてからは、其の重量が皆脊骨にかゝつて居る。それで時々內臟下垂病などに罹る人もあるが、婦人は男子より一體に內臟が重いので、立つて居ては害が多いのである。この點は女子を取扱う際、特に注意しなければならぬ點である。

□氣質の相違

かうして立つやうになつた人は、手が自由になつて、いろいろの働らきを始めたので、從つて腦が發達し、單に自然物の恩惠多き土地斗りでなく、各地に生活が出來るやうになつた。然し寒帶に餘り文明が發達する事は出來ずして、文明はやはり四時の變化ある土地に榮えて居る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

元來氣候から受ける精神上の影響は夥しいもので、希臘の醫聖ヒポクラテスは「單調の氣候は人間を懶惰に導き、變化ある氣候は人を努力せしむ」と云つて居るが、實際「布團軟暖にして寒暑なし」と云ふ人工的の單調の氣候に生活する上流や金持ちの生活も亦懶惰虚弱を招く基である。アリストートルは「寒帶地方の人は活氣に富み、暖帶は智識に於て勝る」と云はれた。寒い處は心身が縮つて、活力を出させる。かの支那の如きも「北方の强」といふ言葉がある位である。暖い處は想像が豐かになる事は、夏になれば記憶や推理を拔きにした輕文學が人々に喜ばれるを見ても分る。寒暖には罪も病氣も亦關係を持つて居る。佛蘭西では熱い折は身體上の犯罪が多く、寒い頃は財產上の犯罪が多いと云ふが、我が國の統計などによれば、四月から次第に犯罪を増し、七月には絶頂に達し、それからまた下り坂になつて居る。强盗等の命がけの犯罪は、冬の方が多く、夏の犯罪は輕いが、數が多いことは、事實である。病氣も亦氣候に關係を持つて居る。コレラ等の傳染病は夏に多いのは夏の氣候がその黴菌の繁殖に都合のよい熱と濕氣とを多く含むからである

□水と空氣

次には水と空氣とが人間に關係を及ぼす事は大きい。人間はよい水が不斷になければ發育しない。支那の如きよい水の乏しい處では、泉を尋ねて千里を遠しとせずして汲みに來るといふ程尊重されるが、至る處水の清い日本では、其の有難味を感ずることが薄い。日本は幸に脊梁山脈があつて、地勢が斜面になつて居る處から、水脈が多いのである。日本の美人の產地と云はれる木曾、加茂、秋田等は、皆水が奇麗である。よい水は飲む計りでなく、蒸發して空氣中に入り、皮膚を美くし、血行を好くして、心身の發達を助けるのである。

□强い國民

空氣の乾燥に過ぎるのは困るが、濕氣の多過ぎるのも、人間の精神を因循にする。概して云へば、乾いて居る處から活潑な進取的な人が出る。支那の「北方の强」といふのも、獨逸の强いのも、日本の中國人の强いのも、皆幾分乾いた氣候に關係があるのではなからうか。昔和寇と云つて支那の沿岸を荒した海賊は、皆中國邊の者で、今でも河野、村上などの姓を以て、その子孫が多く殘つて居る。廣島は政治上の閥族がない爲、其の方面には發展しなかつたが、廣く商賈をして居る者は、至る處に散亂して居る。白痴教育等は乾燥した清凉な空氣の高原で昔から行はれた。

□天產物と國民

次に天產物は人間に大きな影響を與へて居る。十九世紀から廿世紀にかけての文明を生んだものは鐵と石炭と、それに電氣を數へて居る。鐵の少い日本は亞米利加に頭を下げて其の供給を仰がなければならない。日本の石炭の產地九州に行くにあらざれば、我が國の物質的活動のどれ程盛んであるかを見られないのも、自然の產物が人文に及ぼす事多きを語るものである。英國の海上の覇權を握つたのも軍艦用の無煙炭を豐かに產すによる事が多いし、アラスカ、カリホルニヤ、濠太利の如きは金鑛によつて開け、亞弗利加の南は金や金剛石によつて人を呼んで居る。希臘に今日の人が見ても驚くべき彫刻が、三千年前はやくも行はれて居つたのは、もとより其の國民の優秀な資質にもよるであらうが、又無盡藏に出る大理石の山がある事も、之れを助けて居る。斯くの如く人は天產物の支配を受けて居る。

□動物と人

其の他人間は動物によつて助けられる事も多い。蒙古人は財產を數へるのに何千匹の牛、羊

三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云ふ、西藏もさうである。それと共に動物から害を受ける事も多い。アミーバーが赤痢の病源となり、鼠の蚤がペストの媒介となり、虱が發疹チブスの媒介となり、一種の蚊がマラリヤの仲介となる。このやうに小さい虫が人命を奪ふ程の害を齎らす事が多い。偽のピシャーは「人間は常に戰つて居るのだ」と云つたが、我々は外に出で、七人の敵がある計りでなく、絶えず外界の攻撃を受けて居る。然し健康ならばこの攻撃に堪へて餘りある抵抗力を持ち續けられるのである。

□植物と人

植物も亦動物と同じく、人間の食物の大部分を供給して居るのみならず、其の精神を和げ、美感を與へ、新鮮な氣分を養つてくれる。私は植物のない處には、到底居られぬ。上野公園邊りの老木の枯れて行くのを見ると、實に身内がなくなるやうな感じがする。この有効なものが、一方には亦害をする。かの黴菌の如きは糀味噌、醬油、酒の如きものを作る有用なものと、恐ろしい傳染病の病菌との二種があつて、有害のものは、絶えず私共の敵となつて身邊を包圍して居る。

□眞理を囁く

最後に自然が精神に理想に影響する事のいかに多いかを語り度い。自然は實に眞善美の刺戟になる。何人も眞理を求めぬ者はないが、其の眞理は自然界から常に與へられて居る。テニソンが「破れ壁に生えた小草を取つて、其の花の一つの何かを知れば、この宇宙も神も何であるかを知る事が出來やう」と歌はれたのはさもあるべきである。ゲーテが「人間の品性は嵐の中に養はれ、人間の叡智は、靜かな中に得らるゝものだ」と云つて居るが、靜かに自然と相對して居る時眞を悟ることが多い。儒教の根本は「眞は天の道なり」と云ふにあるが、自然に僞りはない。櫻の花の葉柄は、東京のも、吉野のも、富士櫻を見ても何れも同じく出來て居る。豆科の根が持つ小球は、ヒマラヤに行つても滿州に行つても、自分の畑のと同じく持つて居る。衛生の法則も亦その通りで、其の[illegible]自然ならば有効であるが、多くは人工的に身體を壊して行くことが多い。

□善を告ぐる自然

自然はまた人に善を告げるものである。獨逸に起つた有神哲學も自然に範ること多い。東洋は殆ど自然からの教へを説ける事が多い。孔子は常に天を手本とした。佛教は谷の聲、山の色凡て宇宙自然のものに神宿るといふ萬有神教を説いた。二宮尊徳翁が「音もなく香もなく常に天地は書かざる經をくりかへしつゝ」とは歌の價値はいさ知らず、點頭かれる處である。私の友人に大きな人物ではあつたが、一向信仰心のない人があつた。或年一人の友を伴つて富士に登り、絶頂に於て一人は甲州路に、一人は駿河路に別れた時、云ひ知れぬ淋しさを覺えて、我れ知らず淺間の社頭にひれふしてお辭義をしたと云ふ事である。無神論者の如く云はれて居るダルウヰンが海を越えて南の國の處女林に分け入つた時、自然の儘に天を突いて鬱蒼と大樹の茂れる樣を見て、思はず大地にひれ伏し「オ、神よ！」と叫んだと云ふ。

自然の巧みに觸れる時は、何人も神を知るのである。私も亦或夏を淺間山麓に過したことがあつたのが、仰げば翠色滴ら計りの山々を望み、溪流は潺湲の音をたてゝ流れて居る其處に水車がカタコトと音を立てゝ、ゆるく回つて居る繪のやうな光景の中に、と見ると、一本の麥が今にも實が熟して落ちさうになつて、懸崖の間に顏を出し居る。あの麥は數日ならずして實が落ちてこの溪流に何處ともなく流されて終には朽ちて終うて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あらうに、我が運命も知らぬ顔に泰然自若として、結ぶべき實を結んで居る。人間もこういふ人であつたら、どんなに立派であらうと思ふと、この一本の麥に云ひしれぬなつかしみ親しみを感じ、尊く思はれた。自然も見方によつてはたしかに教訓に充ち滿ちて居る。英のウォヅオイスが「春の森は、古今の聖賢より、より多くの教訓を與へてくれる」と唄はれたのは、同感である。

□美の源なる自然

自然はまた美の源である。人間の美術は到底自然の模倣たるを免れない。いかなる藝術家も野草の一つにだに及ぶ傑作を作る事は、むづかしからうと思はれる。自然は大なる美術として常に趣味と慰安とを與へ更らに感化影響を人間に與へて止まない。到底自然の子たるを免かれぬ人は、常に其の大自然の懐に抱かれつゝ、これを發揮し、愛護して進みたいものである。

（大日本婦人衛生會に於ける講演大要）

私の受けた感化（十）

税所敦子刀自

息女徳子刀自

▲静かな八疊の客間には、古るい屏風に澤山の短册が貼つたのが一番目につく。その美しい水莖の跡は、そゞろにありし人の俤がはつきりと浮び出る樣にも思はれた。税所敦子刀自、正五位掌侍、緋の袴に十二單衣の姿が、此短册の中から抜け出て來るのではないかしら。

▲隣室の襖がさつと開いたとたん、私の想像はすつかり打ち消されてしまつた、『初めまして……私が税所で……』脊中を圓くしたお婆樣が、ずる樣にして入つて來られた。そは世にさきめきし敦子刀自がたつた一人の忘れがたみの徳子樣といふ方、私は此お婆樣のどこにか、あの名高い尊い敦子刀自の俤を偲ばうと、さみかうみ見遣るのであつた。『母は二十歳の時に嫁いで、廿五歳で私を生み、廿八歳で未亡人となりました。五十二歳の時から御所へ上りまして、明治卅二年七十六歳で亡くなりました。娘の私がもう七十でございますもの……』徳子刀自は感慨深さうに斯う云つて淋しく笑ふ。

▲『母は昭憲皇太后樣におつかへ申し、且つ有難い思召を載いて居りました。お上がお詠み遊ばしたお歌は、母がいちく清書して高崎正風さんへお出し致しましたものです。母は小さい時から歌が好きでございましたさうです。母の歌で私の口覺えにおぼへて居りますのでは、秋の初めの頃

さき洗ひいまだ結ばぬ黑髪に
涼しく通ふ秋の初風。

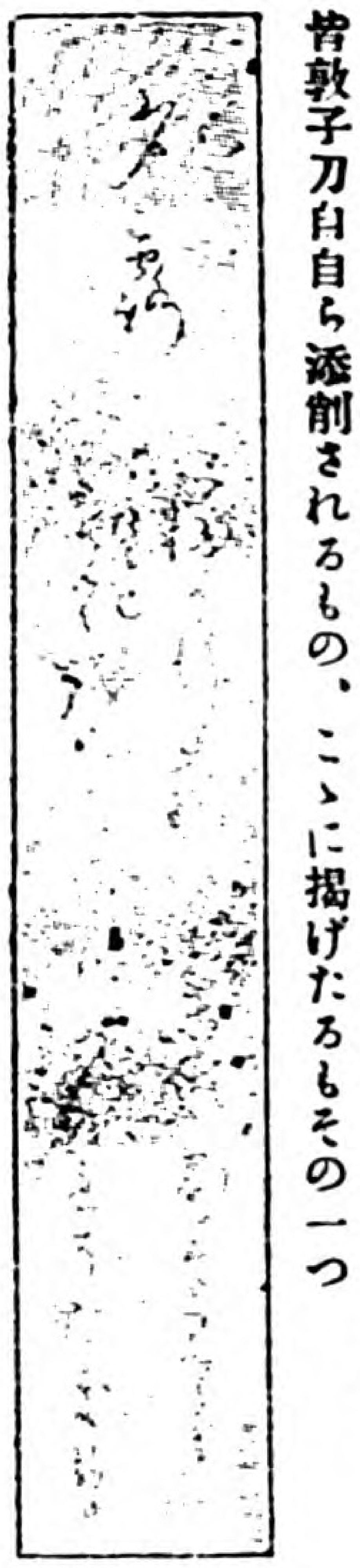
そのほかに、御所へ上る前に、近衛公爵へ上つて居りました時、お庭で

たかやどに梢はなれて今日もまた
花なき庭に花の散るらむ

世の中を思ひ離れて眺むれば
空にくまなき秋の夜の月。

などは、時々私の記憶から出る歌でございます。

▲母は平常ほんとに優しい女らしい、物をいふのにも普通の人よりは小聲の方でしたが、いざといふ時は、ほんとに男も及ばぬ程ごはい人でした。日頃よく目白の和上樣へ伺つて、極厚い信仰心を持つて居りました。死ぬ時にも一切「無」でございました。御所から突然車で歸つて來て、床についてから四日目に亡くなりましたが、眠るが如くで、私には全く夢の樣でございました。後になつて病氣から死ぬ迄の私の感想を僅か許り書いて、知人にお分ち致したものがございます。』刀自はかう云つて鼠色表紙の薄い本を下すつた。其中には古風な美しい文體で、母人の死の悲しみが叙してあつた。



夕露

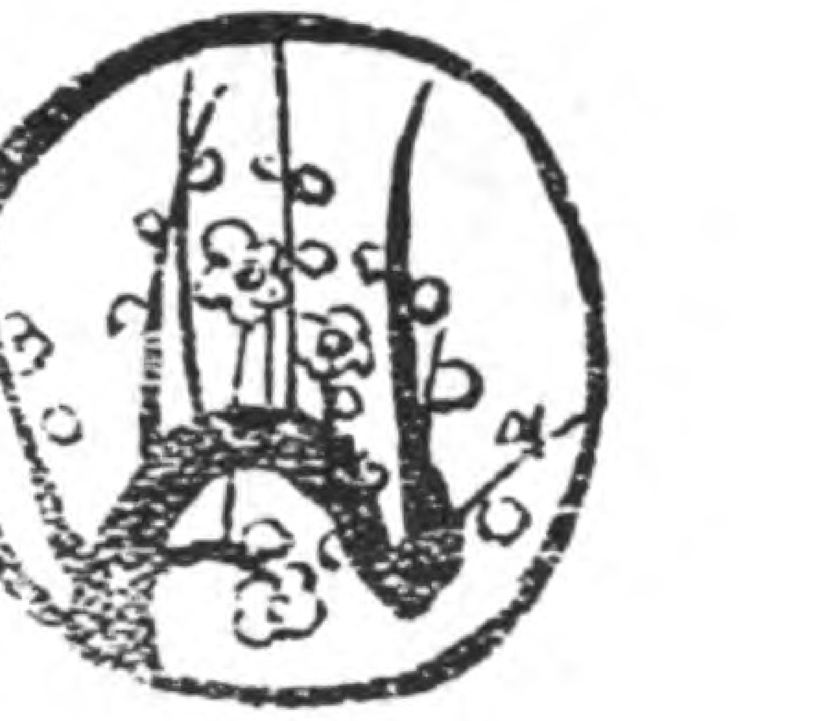
移り行萩の下葉の露を見て
たもとしほらぬ夕ぐれぞなき

敦子

＊かたみの短册は凡て屏風に刷られ、徳子刀自のをさめらるゝものは皆敦子刀自自ら添削されるもの、こゝに掲げたるもその一つ

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



春の思ひ出（上）

花の十八に若返つた記念

女子高等師範學校教授　二階堂とく代子

□渡英當時

のどかな春が訪れると、私は過去の生涯の中で、最も變化の多かつた、渡英當時の事を思ひ出さずには居られません。大正二年一月心細い一人旅を終つて、英國に上陸した身は、恰も廿六日目になつかしい紀元節を迎へたのでありました。此の四週間は瞬く暇に過して終つた樣に覺えましたが、けふ追懷致しますと、實に長い四週間であります。それもその筈、此の四週間は私が未だ嘗て經驗の無い程、多くの新らしい事柄に、接觸した時でございます。今日も、其の頃のノートをくつて見ますと、第一精神界に非常な變化を受けました。第二發聲術とでも申しませうか、其の言葉に依つて、私は私の唇を酷たらしい程速く、且つ巧妙に動かすべき事を强ひられ、私の唇は殆ど痲痺の狀態に陷りました。第三體操科の方では、まづ呼吸法の訓練をつけるとあつて、私は胸式呼吸、胸腹式呼吸、並びに腹式呼吸を、色々な方式で敎へられました。

□一夜で恢復せぬ疲れ

精神上の變化と申すのは、所謂花の十八の氣分になりかはつた事です。此の以前とても、別に年寄りを以て自任して居たと云ふのではありませんが、もうい丶加減な年だ、花の時代は過ぎ去つた、之れから落葉する秋のあはれを味はねばならぬのだと思はないわけには參りませんでした。別して此の四週間の最初の一二週間、痛切に此の感に打たれましたと申すわけは、同級生が皆十八九の蕾、若い〳〵力の光を心身に漲らせてゐる中に立ち交つて、色々とむづかしい體操や、骨の折れる舞踏などを致しますと、誰れ獨り疲勞を感ずる者のない場合に、私許りは身體も心もへと〳〵になつて、而かも其の疲れは其の夜の休息で恢復する事は出來なかつたのです。すると何時も先生から――苟も體操敎師たる者が、これん許りの事で疲れるやうでは仕方がない……其の日の疲勞を翌日迄持ちこす者があるものか……」などゝ、ひどく叱られ、果ては「同級生を見よ」とやられるのでした、此の「同級生を見よ」が、私には癪にさはる大不平の種でした。「年が違ふもの

子供部屋の額（一）
「わが飼牛！」

六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

……」と心の中に思つては「あの人達のやうにはあり得ない、生理學が夫れを證明してゐるではないか、何としたわけの分らない先生だらう」と恨みがましい氣分を持つたのでした。かくて叱らるゝ事數度の後、私は終にたまりかねて「ちつとは私の年の事も考へて下さい…十八九の人々とは違ひます。」と先生に云ひかへしを致しました。すると先生はひどく腹を立てゝ「馬鹿な事を云ひなさい、人は心の持ちやうで、百迄も花の十八であり得る。苟くも一つの事業をしやうと思ふ者は、否人生を幸福に且つ有用にあらしめやうとする者は、死ぬまで花の十八の氣分を失つてはならぬ。此の氣分さへあれば、あなたのやうな弱音はふかないですむのである」と叱られました。

口六十の老婦人の競技

此の週の土曜日に學校ではホッケーの競技會をやりました。本校生徒對婦人クラブの手合せです。其の婦人クラブの家長は、驚く勿れ六十の婦人です。而かも此の婦人は十八九の娘子軍に伍して、一時間の激烈なる競技を見事にやりました。競技中は勿論、競技が終つて後も、此の老婦人はちつとも疲れた樣子を見せませぬ、實際に疲れないのです。私は心から驚嘆しました。弱音を吐くなと私を叱つた先生は、如何に私が此の老婦人を見るだらうかと、始終私をジロリ〳〵と睨みつけて居られました。此の偉大なる刺戟に依つて、全く私が敬服してしまひ、翕然として覺悟するところありと察し得た先生は、非常に滿足の態でした。此の後、私は花の十八と云ふ若々しく、且つ生〳〵した氣分で一生を過さうといふ氣になり得ました。大正二年二月十一日の紀元節は、先づ以て私が花の十八の氣分で祝つた記念の上にも記念すべき大祭日でございます。

讀者から

嗚呼乃木將軍

えつ子

御誌毎號御掲載の「私の受けた感化」中前回御掲載の乃木將軍夫妻については、今更に繰返へしつゝ涙ながらに拜讀したのであります。實に、將軍夫妻逝いて六年のけふ、やゝともするとその崇高なる忠臣烈婦の俤は忘れられんとしてをります。黄金萬能時代ともいふべき現時、背德の輩も金故に尊敬され敬慕され、自らも亦得々然として居る連中が多いではありませんか。嗚呼是れを見るにつけ、聞くにつけ、讀むにつけても、武士道の權化乃木大將を尊崇してやみませぬ。今更將軍の御事跡を認むる要もありませんが、實に荒びに荒んだ精神教育、即ち武士道を振興せねば、我國の將來は不安定なものではないでせうか。私は毎年九月十三日にはあの赤坂の邸へ參拜するのを唯一の樂しみとして居りますが、いつも情なく思ふ一事があります。この二三年來、國民教育に於て最も模範とし、力を注がねばならぬ忠臣に對しての小學兒童の參拜が、實に輕卒な一種の物見遊山と見られるのであります。のみならず列を指導する教師にも亦、我國の眞髓即ち忠君愛國の思想を忘却されて居るかの感が致します。御自邸内を談笑裡に素通りして、奇怪な見世物視して歸へる都市小學生を目撃する度毎に、かうでは前途憂ふべき事ではあるまいかと一人悄然と歸つて悶える事があります。あゝ今一度將軍夫妻の英靈は復活し、この衰へんとする精神教育を鞭韃して、軍國多端の我が日本の今日を、益々覺醒せられん事を、御誌を拜讀して感激のあり筆にしました。

（三月十日陸軍紀念日に當りて）

* * * * * * *

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

細民窟での

教化十五年

―萬年小學校の記念日を訪うて―

＊＊

下谷の萬年小學校といへば、東京市の設になる唯一の特殊學校である。溯つて學校の起源をたづぬれば、時は明治三十三年五月、今上天皇陛下御成婚のみぎり、明治天皇、昭憲皇太后兩陛下より下しおかれたる教育資金が、此學校實現の源をなしてゐる。時は流れて早くも十五年の記念の日は、去る十日の日曜日に擧行せられたのである。今日に至る迄の卒業生實に千〇十六人を數ふといふ。文字といふもの目に無かりし彼等の社會に少くとも目を開かしめたる此學校の恩惠と、十數年來不明の彼等の上に努力し來れる坂本校長の苦心も思ひやられる。卒業生の中には、特志家の援助により、やがて醫學士に成らんとしてゐる青年もあり、師範を卒でゝ、當校の訓導を奉職せるもあり、女子大學の英文科を卒業して、前大學教授ミス・アズパンの經營せるブラックマホームの内に働きつゝある婦人もある。或は又高等女學校在學中の女子もある。男子の中には、在郷軍人も多く、官廳會社商店等に雇はれし者、或は獨學獨立して、建具職、理髪職、經師職、金屬職等に從事せる者も、日に數を増して行く。

＊＊

毎年七月と一月の十六日には卒業生は母校に招かれて、一日の歡を盡すを樂しみとしてゐる。すく〳〵と丈のびて、諸方面に新しき生活を開拓して行く彼等の集りを、校長は莞爾として見やる。暗黑面の濃いあの社會の、豫想もつかぬ事柄や、暗闇から明るみへ、救はれて行く、奇しき運命話は、此學校の中にいくつ生れてゐるか知れない。

＊＊

學校へ出る樣な子供を索しに此學校の先生達は、時々貧民社會へ出掛けて行つた。『内には子供は居ませんよ』眞暗い小さな家の中から、突拳貪なおかみさんの聲をきく事が度々あつた。今は無いが、入谷のボール長屋――といへば、六戸立のボール紙の長屋であつた。雨のあたる處だけは板で、他は凡てボール紙で出來てゐた。其一つの家にふと人の動く影を認めた。筵の樣なものを頭からすつぽりと被つてゐる、よく見ればそれは幾月にも梳つた事のない頭髪が、思ふがまゝに延びもつれて押しかぶさつてゐるので、男女のそれすらも分らないが、手に抱ける嬰子を見て、辛じてそれが婦人である事が知れた。『私は萬年小學校から來たので、お宅の子供を學校へ教へて上げやうと思つて來たのです』『おやうちの野郎も教へて貰はうかナ……』母親はかう云つて學校に子供を託する事にした。『旦那學校の先生だとよ……おれんとこの野郎も教へて貰ふべいか……』かう云つた噂から二三の家からも子供を見つける事ができた。

八

＊＊

處がある晩の事であつた、入谷から淺草公園へ行かうとする道端に、土の上へ石を枕にして寢かされてゐる一人の子供があつた。その傍で父親は、道行く人に物を乞うてゐた。よく見れば其子供は、ひる學校へ來てゐるボール長屋の子であつた。子供は學校から歸ると、父親に連れられて、おもらひに出掛けるのが常であつた。

＊＊

今は孤兒となつた其子供は、幸に心掛がよくて、學校を出

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ると直に人形屋へ奉公に行き、親方の信用も厚く、今年適齡の徴兵に當らなければ、立派に店を持つ事になつてゐる。

＊＊

『先日も電車の中で弱つた事がありましたよ』澤山の頤髯を撫でながら、校長は語るのであつた。『粋な姐さんが、先生と！呼びかけるぢやありませんか！『それは新橋の藝者で、弟が此學校へ來てゐるのでした。何でも一心に弟を見たいといふ目的であるさうですが、その眞實な心持はよいとして、教育上果してそれが善いか惡いか、私共は時々かうした問題で考へさせられる事が屢々なんです……』先生は又語を轉じた。『卒業生の中にはそば屋の女中もあります、其他に奉公してゐて、よい處へ嫁に行き、立派になつてやつて來るのもあります。お召の着物に大丸髷で、すつかり見違へてしまう樣なのもあります。彼等の姉妹の中には多くの娼妓も藝妓もあります。これらも一概に私共の口からけなしつけてしまふ立場にはなれないのであります。』社會の裏面に日毎夜毎に生ずる哀話は、年老つた校長の唇から、とめどもなくつゞいた。

（佳子）

食品展覽會

―時節柄必要な催し―

▲お茶の水女子高等師範に隣せる教育博物館階上に、二日より十七日迄開催せる、衛生經濟食品展覽會を見る。階段を昇つて左すれば、先づ美味しさうなお菓子が、二三個宛並べられてあるのが目につく。種子物菓子といふ處に、おこしや捻物が澤山並んでゐる。豆物類の菓子は中學時代以上に成らなければ、安心して與へられないと注意がしてある。こゝは、子供の年齡と駄菓子の研究を示したので、上方に貼つてある宮本醫學博士の說に依れば、幼稚園時代の子供には餡氣の無い饅頭、飴、輕燒、落雁などがよいとしてある。次にずらりと行列して居るのは、揚物菓子、餡物、餡菓子、玩具的菓子などが網羅されて居た。凡て餡氣のものは餘り宜しくない、殊に夏などは危險であると書かれてあつた。

▲目を轉ずればそこには異樣な物が立つてゐた。濁つたものが段々に澄んで行く樣な形が並んでゐる、それは食物消化の順序であつた。濃いごたくした物體が稍細かくなつて、次には青い半透明な物になつてゐる、それは茶汁の消化であつた。かうした順序が三段になつて示してある。澤庵、肉、飯等の消化順序をよく眺めて居ると、自分の胃の腑のあたりが、氣味惡るくうごめく樣にも覺える。

▲次にはおいしさうなお膳立がしてあつた、劇動作業者の一日量食は、蛋白質が二百十四匁、脂肪五百十八匁、含水炭素四百七十二匁三分と書いて、膳の上には肉、刺身、玉子等を調理したのが、模型で上手に出來てゐた。三歲五歲の子供の食膳も出來て居る。試に三歲內外の子供に與ふる膳を見ると、牛乳パン白隱元含煮、鯛、大根等を料理したものであつた。菓子はマシマロー、ビスケット等よろし。

▲女子大學の出品中獸肉、鳥、魚貝類、豆類、蔬菜類、穀類等の十餘滋養價が、親切に實物を皿に盛つて示してある。二三の滋養價を記すれば、豚肉百三十三カロリー、牛は百三十四、バタは千四百四十、鮭二百六十八、甘藷が千三百九十五、蜜柑六十五、梨子百十七カロリー等であつた。此處の硝子箱の前には、數人の觀覽客が立つて、中にはノートに書きつけて居る若い婦人達も見受けられた。

▲同じく女子大學出品の臺所用具、食物分析標本なども目につく。手際の好い人形で示した齒の病氣、殊に壁に掲げられた口腔より胃腸に至る迄の圖は氣味わるくもあつた。分り易く齒の衛生や淸潔法が解いてある。齲齒病原菌が妙な形をして皆を驚かしてゐる。模型の乃木將軍の顎型もあつた。乳齒から永久齒に移るまでの、子供に對する親の注意をよび醒ます事は數多かつたとおもふ。

九

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女學校印象記（十）

小學女教員養成の學校二種

▲小石川同心町の停留所の前に薄青い質素な門が目につきます。その兩側に、一つは府立第二高等女學校、一方には東京府女子師範學校といふ、かなり古い看板が目に入るでせう。そして黒板に掲げられた生徒募集の白い字も、時節柄若い娘達の目を惹いて居ります。師範學校の校舎はずつと左手の方にあります。試みに師範の規則書を貰はうと、受附小屋の小使さんに頼むと、『もう豫備の試驗はすんだから差上げません』といふ。『でも少し譯があつて欲しいのですが』『イエどんな譯があらうとも斷じてもう上げません』小使爺さんはいたけだかになつてかう云ひました。私は少し恐れをなして、しよぼ〳〵と歩を移しました。

▲時間中の校庭は人もなく、たゞ點々敷地の石が、淡い白日の光をあびて沈默を守つてゐました。教室の硝子越に、生徒の頭許りが、靜かに動いて並んで見えました。右手を見ると師範豫備試驗合格者人名といふ紙が目につきます。其前にお下げの二三の生徒が包みを抱いたなり、一心に見詰めて居ました。そこには百五十九名の名前が、ぎつしりと嬉しさうに羅列してありました。

▲運動場を突切つて突き當りが師範の寄宿舎です、其の並びの雨天體操場の中には、薙刀を手に持つて、襷を掛けた生徒等が、長い列を作つて歩き廻つて居ました。次の教室からはピアノとオルガンとが、何かの進行曲を合せて洩れて來ます。鐘が鳴ると幼稚園の生徒が、小さな平屋建の入口を續いて出て來ました。黒い上つ張りを着た女の先生は一人々々小さな頭を撫でゝお辭儀をして居ました。

▲師範本科第二部は、明治四十四年二月、府令第十八號に依つて、當校内に設けられた唯一のものであります。生徒定員は四十名で、一ヶ年を以つて修業年限としてあります。其内には若干名の私費生もありまして、東京府が小學校教員を養成する目的からであります。五ヶ年の高等女學校を卒つた者は受驗に應ずる資格があるのであります。學資補給金は一ヶ月に金五圓、其他に教科用圖書費として約拾圓、雜費として月平均參圓五拾錢の自辨の必要があります。そして卒業後の服務としては、二ケ年間東京府知事の指定する小學校教員の職に從ふ義務があります。

▲又私費で卒業致しました者は一ヶ年間東京府下に於て、小學校教員をする義務がある事になつて居ります。二部生は凡て通學でありますが、都合に依つては寄宿も許可されるのであります。かうした境遇に於かれて在學する彼等は、見た所から固さうな先生タイプにはまつて行きます。女學校出の娘さんが此志望を抱いて、僅か一ヶ年を經れば、もう立派な先生樣として、押しも押されもせずに世に出て行きます。

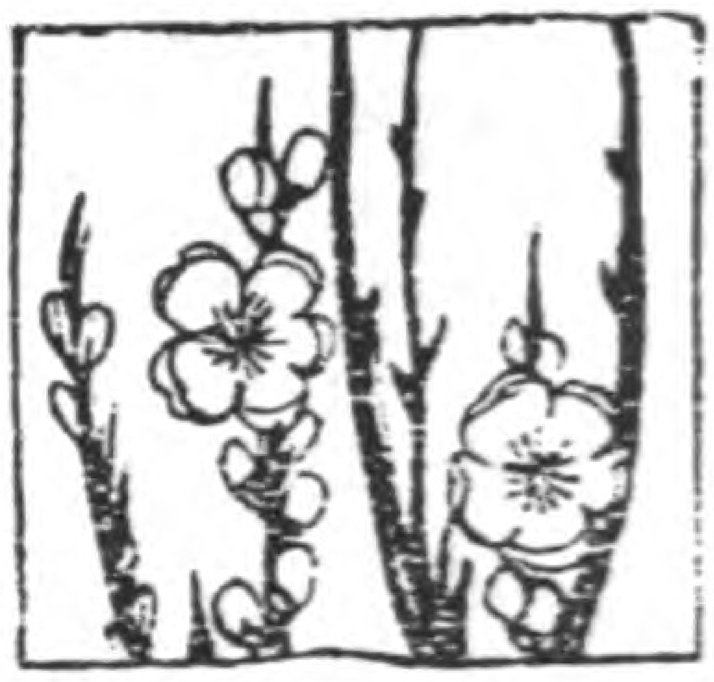
—女學校印象記はこれを以て終りと致します—

讀者から

玄米炊きの特許釜蓋に就て

婦人週報第四卷七號に於て、柳夫人の「玄米食」といふ事につきて御記載の記事熟讀致し候處、其釜蓋の構造が普通より意を用ひ居られ候御樣子承知致し候。其釜蓋の新案特許をうけしものにて、短時間にて工合よく飯の炊ぎ得られ候ものな　私方にては使用致し居り候。丁度道理は柳夫人のと異ならず候へども、多少構造を異にし、鐵製にて重量も重く候。もしこれまで御存知なくして、今後御使用の思召も候はゞ、同釜の効能及び圖面代價表等御送附申すべく候。御手數樣ながら御紹介下され度候（信州上諏訪町樋口てう子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



常設市場を

早く設けられたい

男爵夫人　目賀田逸子

□今日の廉賣市

此の頃は物價騰貴の刺戟によつて、諸所に廉賣市が開かれますが、まだ常設といふ譯ではなし、廣い東京に比しては、至つて數も少く、且つ其の設備が不完全な爲め、買ひ手は遠方から電車に乗つて態々出掛けて行つて、生命から〲僅か斗りの品を手に入れるといふので、經濟にも何にも爲つたものではないと思ひます。昨今は一種の流行のやうになつて、人氣もありますが、これでは市場の目的には一つも叶はないと思ひます。此の際個人であつても、市の經營であつても宜しいから、先づ尠くとも各區に一つ位の常設市場を早く設けたいと思ひます。

□支那で見た市場

先年滿洲に旅行して、各地至る處で市場を見ましたが、實に設備は至れり盡せりで、また賣り手も買ひ手も至極落ち着いたものでした。市場は大抵四角で眞中がたいらになつて居つて、此處では鳥獸魚肉の生臭物を取扱つて居り、晝頃賣切れた後はホースで水を出して奇麗に洗はれる便宜になつて居ります。周圍の小屋掛けは、野菜、果物、乾物、其の他あらゆる日用品を商つて居ります。買ひ手は主婦が女中を連れたのもあり、コツクや下人もありますが、其の腕には半月形の籠を提げ、其の中に必ず秤を入れて居ります。かうして店先きに立つて、魚でも肉でも、野菜でも何でも、賣手も買手も秤にかけて買ふので、胡麻化される氣遣ひはありません。

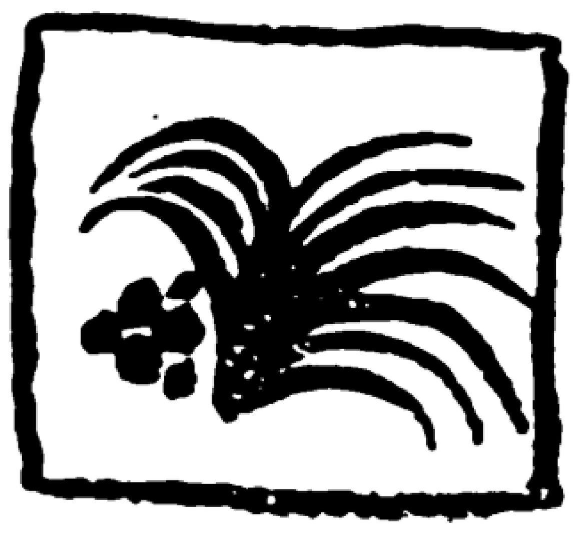
□商賣上手の支那人

鎭南浦の或る市場に參つた時私は宿に殘つて居られた同行の婦人に、美事な白菜を見せたさに、市場のとある店で買ひました。只一つ買ふのですから、先方の云ひ値通り五錢で一株を求めて、同行の男子に持つて頂きました。少し先きに進むと、私の望み通りの美事な白菜の大株が見付かりました。「あゝ此處で買へばよかつた。これも買つては重くなつて、持つて頂く方にお氣の毒だが、然しいかにも見捨てるには惜しい品だ」と云つて、試みに値ぶみをしました。「十錢です」と店番の支那人は答へますので、「私は白菜が一株あれば澤山なのだが、この大きい方が欲しいと思ふから、どうだね、先きの店で五錢で買つたこの品と別に五錢を添へてその十錢の白菜と替へてはくれまいか」と申すと「よろしうございます」と快く取替へてくれました。私は支那の商人は實に見上げたものだ、日本ならば、突劔貪に「他の店で買つた物なんぞお取替へは出來ません」と怒鳴るであらうに、さすがに大國民の度量があると快く覺えました。

□かくて初めて經濟

かうして買ひ出しに行けば、所謂屋敷相場と云つて、家を見て高賣りせらるゝ事もなく、買ひ手も充分の品選びが出來、且つ仲買人の手を經ない安價なものを日々買はれるのです。賣手も問で口錢をとられないで、利益はどれ程多く手に入るか分りません。市場設置の費用位は、直きに取返しがつきませうから、早く取掛つて欲しいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



落第といふ事

――必ずしも不名譽ではない――

奥　きく子

□嫁入の疵といふ

今年も彌生の月に入つて、各學校の學年試驗の時が參りました。近來高等女學校程度以下の學校に於きましては、何方も落第といふ事を爲すべからざる事の樣にして居るやうに見えます。生徒自身も父母兄姉もまた教育者に於ても、落第させては可愛さうである、嫁入りの疵になると申す樣でございます。私は此の言葉を聞きます度に、情けないといふ感じを持たずに居られません。

□卑怯不徹底な事

由來教育を受けると申す事は私共人間の智能を啓發し、德器を成就し、世の爲めにも、自身の爲めにも、價値ある生涯を送り得るやうにする爲めで、たゞ是れを裝飾として、嫁入の口を得る爲めではないだらうと思ひます。私は出來ない子供をも無理に及第させて貰うとか、出來の惡るい子供をも、どうかこうか高等女學校を卒業させて貰はうとかいふ事は、實に卑怯な、そして實に不徹底な事であると思ひます。出來ない、學力の足りない子は落第をさせて、本當に身につく樣に修業をさせる方が、どの位本人の爲めであるか分りません。又もしどうしても學問に適しない子ならば、他に技藝なり何なり仕込んで、其の人に實力をつけてやる方が、人の爲めにも身の爲めにも有益であると思ひます。

□二度落第して醒む

小學時代の事で、例にはならぬことかも知れませんが、私の妹は學校が嫌ひでした。それで成績もよくありませんでした。尋常三年の試驗に數學の點が二點不足でした。私がもし此の成績を知らなかつたら、妹はお情けで及第になつたかも知れませんでしたが、私が其の成績を實地に見て居りましたので、正當に落第させていたゞきました。此の妹は其の後父の轉任の爲めにも一遍落第となりました。今迄ぼんやりして居た妹の頭は、此の時初めて目を醒し、ほんとうに、物が解るやうになりました。そしてそれから優良の生徒となりました。私は今でも、彼女がもし落第をせなかつたならば、もつと〳〵つまらぬまゝで成長し、霞を隔てゝ物を見るやうな有樣で世の中を通つたらうと思ひます。

□無理に及第させて

又此の反對に出來ないものを無理やりについて上らせた爲めに、其の人の性格迄も、譯のわ

お化粧問答

問　追々時候も春めいて參りますが、當地は煤煙や塵埃が多いので、外出するさい、冬よりも一層膚が荒れるやうで困りますが。（麴町　靜枝）

答　これから彼岸櫻の匂ひ出る

頃になりますと、足は自然に戸外に向ひ、到る處雜閙して都會では塵埃や煤煙に晒される機會が多く、而己ならず春日には夏の烈日よりも却つて燒け易いものですから餘程御注意なさいませんと、お顏は冬よりも却つてザラ〳〵と荒れるものでござい

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

からぬものにして終つた例もございます。落第は決して名譽ではありません。然し出來ないで及第するよりは、潔いと思ひます。出來ないながら落第をする勇氣のないのは、耻ぢであると人々が思ふやうになつたなら、もつと〳〵徹底した教育が出來るやうになりはせぬかと、私はいつも思ひます。

彼岸料理

凡て精進にて

手塚かね子

材料としては、油揚、干瓢、麻の實、ほうれん草(芹ならばなほよし)を用意します。

□若菜壽司

先づ油揚は笊に入れ、にたつた湯をかけて油をとり、これを出汁、砂糖、醬油にて煮付け、よく汁をきつて置き、その中に次のものを詰めます。

壽司の御飯は、餘り軟くなく炊いてさまし、これに酢一杯に就き、鹽と砂糖を各十分の一位入れて、かきまはして、これを御飯に混ぜ合せます。ほうれん草(芹にても)は茹で、絞り、出汁に醬油をちらとまぜたものにて洗つて絞り、三分位に切つておきます。干瓢に初め揃へて、こんがらからぬやうに、上を一寸干瓢にてしばり、一旦湯につけ、軟かにし、後茹でゝ、爪の先きにて切れるやうになるを度として水を切り、別に出汁と砂糖、醬油にて味をつけ、三四分に切つておきます。麻の實はざつと洗ひ目の細かい篩の中に入れて水を切り、焙烙の中に入れて乾かす程度に一寸炒ります。かうして御飯にほうれん草と干瓢を交ぜ、麻の實は齒に障らぬやうにちらと交ぜます。よくこの中に椎茸を交ぜますが、若菜が目立つやうに、これにはわざと入れませぬ。油揚は袋のやうに二枚にはがして、御飯を詰め、直徑一寸五分位の太さにして、これを小口から好みの大さに切ります。切り口から若菜が出て、奇麗です。

□山葵壽司

海苔のよいのを撰び裏から焼き、半分に切つて縦に巻きます。中の御飯は、若菜壽司を拵へる際、酢を合せた白い御飯をとつて置てます。これを海苔の上に押し付けて置き、山葵のすり下ろしたものと、干瓢の甘煮とを置き、直徑七分位に巻き、八分か一寸位に切ります。山葵を下ろすには初め皮をこそげてとり、よく洗つて、下ろし金でおろします。只下ろした丈けでは香ひが出ませんから、俎板の上で薄刄で微塵に叩きます。

□汁

くわゐの團子揚げ、生椎茸、莢豌豆を實に致します。くわゐをすり下ろし、めりけん粉を五分の一位入れ、小さい團子に丸め、胡麻の油のにたつた中に入れて、狐色になる迄揚げます。これを笊に入れ、にたつた湯をかけて椀に二つか三つ盛ります。生椎茸は奇麗に洗ひ、石づきを取り、四つ位に切つて、出汁と少しの醬油で下煮をして二つ位附け合せます。莢豌豆は鹽茹でにして、摘んでつけます。滴汁は出汁に鹽七分、醬油三分の汁を作つて、加減し、熱いのを盛つて出します。

□小丼

としては芋田樂を拵へます。里芋の成るべく小粒を撰び、長いのはむいて切り、茹でゝ、これを新らしい竹串か、さもなくば金串を生臭くないやうによく洗つて、幾つもさし、こんがりと焼けた時、甘味噌をつけ、もう一度あぶつて、一つづゝ上手に串から抜いて、小丼に盛ります。甘味噌は白味噌と仙臺味噌とを半々にしてよく擂り、裏漉にかけ、少しの出汁にて延ばし、砂糖を入れ、好みによつては粉山椒などをちらりとふりかけます。

蛋白質に富む
植物ミルクフード
見本袋入 拾錢
三十回分 五拾錢
小包料市内四錢内地八錢臺灣樺太朝鮮廿錢
婦人週報社取次

ます。夫を豫防するには化粧液中、品質効顯共に第一と稱せられるクラブ乳液をお使ひになるに限ります。夫には先づお出かけにクラブ洗粉でお洗面の後、クラブ乳液を脱脂綿に付けてお顏をお拭きになり、其の上へクラブ煉白粉でお化粧を遊ばし、外からお歸りの際には又たクラブ洗粉で能く御洗面の後、再びクラブ乳液を付けてお置きになりますと、絶對に日焼や塵埃、煤煙の害が防げますのみならず、能くお顏の脂肪が除れて其の跡には皮膚の滋養分のみが殘りますから、素顏の美を増す上にも一番有効でございます。

問 お願ひ、鬢をふくらます秘訣を簡單に。 (本郷 時子)

答 先づクラブ洗粉で髪を洗ひ上げ、新らしく水を汲み、其の中へ日本名物クラブ香油を一寸落し、其水でゆすぎを掛けて御覽なさい、よく鬢がふくらんで結はれます。

十三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

青い花の國

（九）

葭美子

王様は皆がかうしてゐる間に何をしておゐでになりましたでせう？ある時は山の上のお城に、ある時は都の宮殿にお暮しになりましたが、いつも〱人民達の事許りを思つて、御自身も一生懸命に働いておゐでになりました、そして夏の初めになつた時、青い花を御見物に、國中をお巡りなさるといふ御布告を御出しになりました。

　やがてその日が來ました。王は冠を戴き、白い馬に跨がつて宮城の門からお出ましになりますと、畑や野原は云ふに及ばず道の兩側にも、石垣にも、屋根にも、立派な貴い人達のお庭にも、座敷の上にも、貧乏人のあばら家にも、破れ垣にも、厨や食べ散らかして丘のやうになつて居る所にも、至る所に青い花が靡き咲いて居て、王が息をなされば一息毎にその床しい香がしない所はなかつたのです。そして初めて王を見た時には、鼠のやうに駈け込むで了まつた子

供や、芥溜のかげに隱れた年寄達もその日はもうにこ〱して王をお迎へしたのです。ですから王のお喜びは一通りではありませんでした。お迎へ申してゐる臣民達をご覧になるそのお眼は、冠について居る寶玉よりも輝いて、お笑ひになるその御顔は、日の出も及ばないやうに立派でした。

　ところがある町外れの小さい小屋の側にお出になつた時不圖青い花の一つもない小さい庭に御眼がとまりました。

「これは又どうした事か？この庭には手入はしてある、土もよくならしてあつて、無駄な草一つ生えては居ない。けれど、青い花は一つも咲いてゐない。これでは私の命令にそむいて居る。」と王は申されました。

　すると小さい小屋から小さい跛子がぶる〱震へながら、よろめいて出て來て、王の白馬の前にどつかとからだを投げるやうに跪いて、

「あゝ王様！　私はあはれな跛子なのでございます。小さいやくざ者で、雑作も無く殺されて了まひさうな者です。私の所には、一つも花はございません。初め私は種子の入

十四

つた自分の包を開けた時、うれしくてうれしくて夢中になつて了まつたものですから、風が吹いてるのなどすつかり忘れて了まひました。丁度私が包を開ける途端に、風がさつと吹いて來まして皆な種子を吹き散らして了まひました私はもう恐しくて、この事を誰にも話すことが出來なかつたのでございます、」と泣き入つて、もう何んにも云ふ事が出來ないやうになりました。

「それから……お前はどうしたといふのか、話してきかせう。」

と、優しく王が言葉をおかけになつたので、

「それで私はもう何うも仕様がありませんから、只自分の庭をきれいに掃除して、雑草の生えないやうにいたして置きました、時々には他の人に願つて土を掘らせて貰つたり又外に出ました時、私の眼にとまつた穢ない紙切れや、芥

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くたなどをかたづけたりいたしてました。けれども私は王様の御命令にはそむきましたのでございます。」と、云つて又さめざめと泣き入りました。

王はわざ〱馬からお降りになつて、跛子の手を取つて御自身の前にお乘せになりました、そして、

「お前は今日私と一所に山の上の城へ乘つて行くのだ。そして其處でお前は星と太陽の側で暮らせ。お前は自分の小さい庭に雜草を生やさないやうに氣を付け、又他人の爲めに土を掘り、道ばたの穢ないものをかたづけたりしたのはお前が毎日青い花を植えたのと同じ手柄だ。お前は人一倍植えたことになる。それ故一番いゝ褒美をつかはさう。お前は一つも種子を持たないで澤山植えたと同じ事をしたのだから。」

王のこのお言葉を聞いてゐた人々は、世界に鳴り響けよと計りに喜び叫びました。そして鈴山の國に極樂の日が來たと云ひ合つて感謝の涙を流しました。

御巡幸が濟むだ後、王は仙人に向つて、

「實に地といふものは不思議な力を持つてるものですね。私は自分の臣民達に青い花の事ばかり考へさせて働かせまたしたらあんないやないぢけた者達が、今自分達から天國が來た、極樂が來たといつて、喜び合ふ程に善い美しい人間になつて參りました。私はこの國を天國であると共に勉强家の强い國にしたいと思つて居ります。ほんとうにお太陽様や星や他の兄弟達は、いゝ事を敎へて呉れました、けれどこれも皆なあなたの御蔭なのです」と丁寧に感謝の言葉をお述べになりました。

山上のお城で、星やお太陽様の近くに暮して居た小さい跛子は、頑丈な者になつて後には宮庭の園丁頭になりました。賢いパンやの純ちやんは大きくなつてから王の守衛の隊長になつて、寸時も怠らず勤めました。

かうして昔は名前をきいてさへ身震ひが出たといふ鈴山のお國が、青い花のお國と呼ばれて天國のやうに世界中の人から慕はれるやうになつたのです。

（をはり）

女子青年會 英語會 生徒募集 規則書申込次第送る

●初等科 發音、讀方、書方、譯、會話
●普通科 發音、讀方、譯、會話、文法、和文英譯
●高等科 讀方、譯、會話、文法、英作文

●授業料 一月一圓五十錢
●一週 三時間
●教師 外國人及日本人

東京神田北神保町十四（電本局五九八）
女子青年會英語會

顧問 高島平三郎先生

コドモ

學校に、家庭に、一番信用のある教育的雜誌
□一冊十三錢 □六冊七十四錢 □十二冊一圓四十四錢
郵税「コドモ」五厘 「良友」一錢

四月號

東京小石川林町五七
コドモ社
電話番町六一八番
振替東京二七九六三番
最寄書店になくば本社へ申込みあれ

幼年雜誌 良友

小學程度の讀物として最も適切

十五

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手紙（十一）

渡邊たみ子

ぬき足、さし足、廊下傳ひ、そつと自分の室に歸つて机の前にくづをれる樣に座つた時、彼の人に對する嫌惡の情がむらむらと湧き起つて參りました。

彼の人——それは申すまでもなく隣りの人です。

成程兄の言葉の通り、虚心平氣で見た其人は何處に批難の打ち所もない立派な青年で御座いませう。過去の經歷と現在の狀態から割出した將來も、亦所謂望みのあると云ふ方で御座いませう。さう云ふ人から思はれて嫁ぐと云ふ事は、若い女として多くあり得がたい幸福であり、又誇りであるのかも知れません。そして今までとも私は彼の人を好きと云ふ事は出來ませんが、決して嫌ひだとは思つて居ませんでした。侮蔑して居ながらも憎みは致しませんでした。

知り合ひになつて二ヶ月餘り私一家に對してあらゆる好意、敬意を表はして呉れた事に對しても兎に角感謝の意は持たずには居られません。全心を傾けて得やうと悶えて居るものを與へぬ此身の高慢さを何故憎まないのだらうと不思議に思ふ事も、憐れに思ふ折もないでも御座いませんでした。又或る時は文學雜誌などの上に其の人の書いたものを見て、平凡ならぬ性格を知り、從來持つて居た輕蔑の心を濟まない樣に思つた事も御座います。

若しも私の心の中にとざゝれてある二つの扉がなかつたならば、彼の人は容易に入つて來る事が出來たかも知れません。

一つの扉は前にも記した通りの「純潔であらねばならぬ」と云ふ事です。私の理想の處女の主人公は、必ず私でなければならないのです。たゞ心の中で人を思ふと云ふ事さへ、精神的の童貞を破る事であるとまで考へて居た私は、其奥にある今一つの扉には恐しくて觸れる事すらよう出來ないほどのもので御座いました。況して其戶の中にあるものが何かと云ふ事は、心の眼をさへ固く閉ぢて、見まい見まいと努めて居るのでした。

其の二つの扉によつて固くとざゝれて居なかつたならば、そして彼の平安朝時代の婦人等のやうに、「黑髮の亂れて今朝は物をこそ思へ」とか「誘ふ水あらばいなんとぞ思ふ」などゝ云ふ事が平氣で云はれるやうな心であつたならば、直ぐにも誘惑に陷つて居ないとも限らぬ位、憎くない其人が、兄の許まで結婚を申込んだ事を覺つた今、眞底からしみ／＼嫌いな人になつたのです。

十六

でもそれにつれて今まで全く異つた國の事の樣に無關心であつた結婚といふ問題が、俄に眼の前に表はれて、どうでもこれについて考へて見なければならない樣になりました。

結婚とは何ぞや、何故に結婚せねばならぬか、誰と結婚したらよいか、斯う云ふ問題に付いて、私は始めて一つの答案を作らうと思ひ立つたのです。

更けゆく春の夜を、雪のやうなシーツの上に身を橫たへ、紅裏のめりんす友仙の搔卷にくるまつて、枕頭の電燈を消した時今こそ我が世と云はぬばかりに床の間の、投入にした薔薇の香が暗に匂ふのです。

あゝ何と云ふ靜けさでせう。我が身一つの外には、此薔薇を除いて生あるものゝ影をも止めぬ閨の內。紅ながら透るばかりの血潮を湛へ、聖なる靈を包んだ此肉體の・生命のしるしの胸

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の鼓動の響きと呼吸の音が聞こえるばかり。

結婚とは何ぞや、私の眼の前には直ぐ振袖姿の花嫁と白衿紋服の花婿の姿とが見えるのでした。次にはオイコラと怒鳴り立てる中年のちゞむさい男と、色も匂ひも語ひもない、すがれた様に世帶じみた年増女とが見えました。それ以上には差し當つて考へるべき何物もないのです

何故結婚しなければならぬか。生の爲に同種族の保存繁殖のために……おゝ嫌だ、もつと美しい意味はないだらうか？一つの靈の片破づゝ、半は男半は女となつて居たのが結婚によつて始めて一つの靈となる。と斯う考へ付きますと、直ぐにそんなら私の靈の片破は？誰が私の結婚する人であるだらうかと考へました。

差し當つて問題になつてる其の人と、自分とを並べて見ることは堪へ難い屈辱のやうな氣がして、固く眼を瞑つて其影を追ひ拂はうとしました。やつと追ひ拂つて次々に、私の知つてる恰度ふさはしい程の年頃の人を考へて見ました。

朱點を打つた小說だの歌集などをよく送つて呉れる嫂の親類のSさん、いつも戲談を云つて人を笑はせる事の好きな樂天家のWさん、學校を出たら直に大會社の社長か、博士か、大臣にでもなりさうな事を云ふTさん、又私を赤ん坊のやうに可愛がつて、綺麗な繪端書に麗々しく最敬最愛の園子さまへ、などゝ書いてよこす兄の同僚のYさん。斯う並べて見ても一人として良人と呼び度いと思ふ人はありません、皆相當の人であり、皆嫌ひではなく、とり〴〵に好きな點を持つた人等なのですけれど、良人と云ふ事にして考へて見ると誰も誰も少し嫌いな人でした。

最後に、心の奥では誰よりかも深い深い親しみを持つて居ながら、妙に打ち解け難い或方の事を考へて見ました。若くはあつても優れた頭腦と、立派な性格と、男らしい肉體の持主である其の人には、少なからぬ敬意を拂つても居ましたし、思ひ出と云ふ背景の前に立つてる方故他の誰よりも際立つて確然とした形を以つて私に對つて居るのでした。若し誰かゞ私に向つて

「貴女は其の人を御好きなの」

と尋ねましたなら直ぐに

「えゝ大好きよ」

と答へる事が出來るでせう。

「それぢや結婚なすつたらいゝでせう」

斯う反問されたなら、私の僞らぬ心は何と答へるのでせうか。

讀者から

朝鮮から

廣瀨咲子

貴誌號を重ねる毎に、御隆盛に趣かれ候こと何よりおめでたく存じ上候。御誌の記事のいつも空論でなきが、私にはことに嬉しく存ぜられ候。さればこのお說こそはとうなづかれるものいと多く、それらは皆其の日より實行につとめ居候。

長男も今年は學齡に達し、其の準備として、先頃より少しづつ靜座いたさせ居候。こは御誌にて拜見いたしたるのみならず兼ねて諸先生方に伺ひ居り且つ私共も日々實驗いたし居り候まゝ、やがて長ずるまゝに、これが默想の下地とも相成らんかと樂しみ居候。

かの過般の社說「落毛を捨るな」の記事を拜見いたし、その日よりため始め候もの、今はお茶の半斤袋にギユウ〳〵とつめこみて一杯に相成り候。

腹痛時のマッサージを御誌を見ながら自分のおなかに試み、呼吸を覺え置き候處、其の後長男の腹痛には大きに助かり申候其の他南瓜漬には主人大喜び、鈴の輪は赤ん坊大喜びに御座候。されば一週一度のおとづれ待ちに待たれ、僅かの間に、社說より廣告まで、もれなく拜見いたし候。云々（三月六日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口重砲旅團行幸　葉山御滯寒中なる天皇陛下には、八日午後一時御用邸御出門、自動車にて横須賀重砲旅團司令部構内にある演習砲臺に行幸あらせられ、第一、二聯隊を御巡覧御還幸相成りました。

口御降嫁間近き恭子女王　愈々四月中淺野侯爵家へ御降嫁あらせらるべき伏見宮第三女王恭子殿下(御年廿一歳)は、未だ興津水口旅館に御滯在あらせられますが、同宮邸にては御支度に忙はしさ拜聞いたします。

◉**重要外交調査會**　西伯利の形勢迫れるの時、九日午後六時より霞ヶ關外務大臣官邸に於て臨時外交調査會が開かれ、伊東子の外委員全部出席、刻下の重要外交經過の報告協議あり、深更散會いたしました。

◉**四大臣の伏奏**　十日寺內首相後藤內相、勝田藏相、波多野宮相は葉山御用邸に伺候し何事をか伏奏いたしました。

◉**出兵は日本に一任**　巴里よりの報道に依れば、外務卿ピシヨン氏は下院外交委員會に於て、日露の形勢に關し陳述したる後、滿洲並に西比利亞に出兵する任務は、之を日本に一任する事に聯合國間の意見一致を見たと語つた由です。

◉**衆議院の出兵問答**　六日の衆議院豫算總會に於て、尾崎行雄氏は出兵問題に就き、歐米各國と交渉しつゝあるやを質問し、本野外相は我政府と聯合各國と交渉しつゝある事は事實であるが、其內容經過に就ては未だ之を國民に報告すべき時期に達せずと答辯されました。

◉**出兵一頓挫か**　(朝日新聞特電)日本の西伯利出兵に關する米國の立場は、遂に日本政府をして少くとも一時其計畫を中止せしむるに至れり。七日華盛頓の日本大使館は『日本政府は合衆國の提出せる問題に對し、十分考慮を拂ひ居れり、目下西伯利に派兵し居らず、今後と雖も兩國政府更に協議の上ならでは決して派兵せざるべし』と述べたり。

◉**九博士の蹶起**　日露戰爭の時七博士が起つて國論喚起に努めましたが今度の日本出兵問題、戰後の國策樹立に就ては曩の七博士が九博士に殖へて輿論の喚起に努めると申します。九博士とは、寺尾、戸水、中村、建部、高橋、仁井田、松波、志田、添田の諸氏です。

◉**擧國一致內閣の運動**　千載一遇の時機に於て、無爲無能なりとの聲に漸く其影を薄くしつゝある寺內內閣にては、國威の發揚覺束なしとの意見は、朝野各方面に現はれて來ました。其處で內閣の改造說や、各政黨首を網羅した擧國一致內閣說などを傳へるものがありますが、未だ何等具體的の運動とはなつて居らぬ樣です。

◉**政府を莫斯科へ遷す**　露國勞農政府は獨逸と單獨講和條件に調印いたしたに拘らず、一切の政治機關を莫斯科ニジユ、ノヴゴロツド及カザンに移轉しました。ペトログラードは自由港とされるらしく、人民は盛んにモスコーへ向つて立退きつゝあると傳へられます。

◉**馮總統の辭職**　支那大總統馮國璋氏は八日各省へ通電して時局を拯ふ能はざる責任上辭職すると申送りました。馮氏が辭職の決意をするに至りましたのは、段派の壓迫を恐れた爲めでありますが、段派の督軍は張作霖倪嗣冲の二名しかないのでありますから、馮氏の辭職の實現する樣な事はありますまい。

◉**倫敦巴里空中郵便**　米國にて飛行郵便の計畫ありと傳へられる一方、佛國政府の提案に係る倫敦巴里羅馬の空中郵便設置に關し、技術上の施行手續に就き審議中であると外電は報じました。

十八

◉**在郷軍人過激派と戰ふ**　九日ブラゴヴエシチエンスク附近に於て日本在郷軍人義勇團は過激派と衝突し、日本人三名戰死し、七名負傷せりとの報があります。

◉**林駐支公使の歸任**　一時は辭職すべしとまで傳へられ、屢々歸任を延期してゐた林公使は、九日夜東京驛發北京へ歸任しました。現內閣の對支方針が依然北方援助にある事を語るものであります。

◉**北九州の大疑獄**　九州鐵道管理局、八幡製鐵所、福岡鑛務署員等が炭礦業者、鐵工場等より收賄したる不正事件は、大正六年九月廿四日福岡地方裁判所に於て大活動を始めましてから、官公吏實業家の取調を受けたる者無數にて、起訴されし者百四名、高等官、會社重役等多數收監されました。押川長官の自殺も實に之に關して居た事想像に難くなく、長官の外此の事件に關連して自殺せる者數名ある由です。

◉**大天丸擊沈**　松昌洋行所有船大天丸(四千五百五十五噸)は、三月七日地中海で獨艇に擊沈されました。邦船の擊沈されたるもの同船とも三十四隻九萬一千四百七十八噸に達する由。

◉**八代博士侍醫に任命**　外科の大家として知られた醫學博士八代豐雄博士は五日附侍醫に任ぜられました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉ルーズベルト氏聾す 桑港電報に依ればルーズベルド氏は過般來中耳炎を病みたる爲め殆んど聾するに至れりとさあります。

◉借地法案の提出 十數年來の懸案であつた借地法案は八日政府より貴族院へ提出されました。同法案可決の上は、今までよりは借地人の權利利益が保護される事になります。

◉米價調節の其後 米價調節の聲が當局官民の間に喧しくなつてから既に數旬を經ました今日、米價は益々高く所謂調節策の何等見るべきものは行はれません。農商務省では八日大臣以下係り高官が集つて何等か協議する所あり、米穀商品取引所でも同日調節の協議をしました。九日東京商業會議所內で開かれた調査會では、政府の外米輸入を實行するか否やを速かに決定する事が最も急務であると決議しました。

◉碓氷峠の汽車椿事 七日午前四時半頃、碓氷峠を上り進行中の貨物列車は電氣機關車の故障の爲め、急速力にて逆行し一哩半の處を僅數分にて熊の平驛構內引込線に入り岩石に衝突して列車は粉韲し死者四名重輕傷四名を出しました。

◉天然痘の系統判る 病毒全市に及び、日々數名の新患者を出しつゝある天然痘の系統は不明でありましたが、右は昨年十二月十一日東京驛ホテルから聖路加病院に入院した英國人エー、シー、パーキンスが上海より持ち來つたものと判明しました。同人は駒込病院入院後、間も無く死亡したさうです。

◉德川男の自働車人を轢く 七日夜芝松本町にて貴族院議員男爵德川厚氏(四十四)の運轉せる自動車九十八號は、荷車を曳ける通行人を轢き、厚氏は其儘逸走したので非難の聲が高うムいます。

◉女訓導の萬引 牛込區長延寺小學校訓導佐倉さし(三十七)は二月廿七日松坂尾吳服店にて吳服物を萬引せんとして發見され、上野署で取調べた處、同女の自宅には贓品數點あり、數回に亘つて連續的に行つたものであるので、懲戒免職となり、牛込教育界の大問題となつてゐる由です。

◉蘭香女史逝く 畫家閨香河崎きく子女史(三十七)は、流行性感冒にて去月廿一日來大學病院靑山內科に入院治療中なりしが、心臟病を併發して、十二日午前三時遂に永眠しました。女史は愛媛八幡濱に生れ、初めて京都の菊池芳文氏の門に四條派を學び、後寺崎廣業氏の門に學び、東都畫壇の花と謳はれて、每回の文展に出品好評を博して居りました。就中第四回文展に入選の「戯れ」は伊太利の萬國博覽會へも出品され、世界的の名聲を揚げました。蕉園女史逝いて淋しき我が閨秀畫界に、また此の一名花を失へるは、惜しみてもなほ餘りある事です。

◉女子青年會の英語會 內外人の良教師を聘して、初等、普通、高等の英語を一週三時間を教授します。授業料月一圓五十錢

個人消息

▲三宅淑子 (雪嶺氏令孃)現にお茶水高等女學校に在學中、東京女子高等師範の文科入學試驗に應じ、合格せらる。

▲和田とみ子 曩きに心理學研究の爲め渡米したる同氏は、コロンビヤの師範科大學にて、今回マスター、アブ、アーツの學位を得る候補資格を許されました。

編輯室より

▲連載の食糧問題は讀者の皆様の御注意を惹き、種々の御尋ねや御註文に接し、誠に嬉しう存じます。今後もなほ同問題に關しては、研究、實驗の有益なものを揭げて、時節柄大切な用意を怠らないやうに致したいと存じます。▲もう彼岸になりますが、運れ勝ちの今年の氣候は彼岸櫻がやう〳〵蕾の紅をあらはして參つたに過ぎませず、まだともするとお寒さを覺えます。何んとなく時局の底恐ろしさのそれのやうに身にこたへます。▲オハナシ「青い花の國」は好評の中に完了しました。青い花は幸福の表象と申されて居りますが、このオハナシでよくその意味が分ります。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調查等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(每週金曜發行)

定價表

△一部金五錢(郵稅共)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢
△外國一年分金參圓

廣告料

△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は必ず前金の事▲郵券代用は一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行 印刷人 小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所 福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所 婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他
院長診察月木金午前及木午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地(市ヶ谷見附內)
電話番町 六二五一六番

院長 醫學博士 高田畊安

東洋内科醫院

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝 但祭日及日曜及土曜の他

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門

(入院隨時)

大野醫院

院長 耳鼻咽喉科 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二二五七

東京至誠病院

◎内科◎小兒科

——三月十八日より開業——

宅診午前 往診午後

藤井診療所

所長 藤井かう子
本郷區彌生町二番地ハノ三十三號
(電車高等學校前下車)

産科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
(電話京橋二二三一番)

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。
一、期間 自毎月十六日至翌月十五日月水金午後二時より四時迄。
一、講習料 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部(電話芝一七五三)に申込まれたし。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本科實科一學年百名　四年以下補缺募集　○寄宿舎の設あり

文部大臣認可

精華高等女學校

生徒募集

構内に精華幼稚園あり○（市外淀橋町新宿電車停留場西へ一丁）
電話番町五五一七番

シンガー裁縫院　生徒募集

●和洋服刺繍（東京有樂町一ノ五）

●ミシン專修　●毎月五日迄入學

生徒募集

家政部（四月又ハ九月入學ヲ許ス）

裁縫部、手藝部、實業部

土曜日曜部、手藝講習部

（以上各部共毎月入學ヲ許ス）

個人教授

詳細郵券三錢要ス

東京市麴町區上六番町七

私立　大妻技藝學校

電話番町一二二〇番

振替東京三一一六〇九番

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同樣ニ相成候

△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候

△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地（玉川電車通西郷邸前）

百足屋染物店

平田孫太郎

和洋裁縫講習録

共立女子職業學校教師　數氏及大家博士　文部省檢定委員　執筆

卒業一ケ年　月謝僅に卅五錢　三ケ月一圓・一年三圓六十錢（美本毎號百六十頁）

自宅獨習生徒募集

□和服裁縫科　□小物及細工物科　□洋服裁縫科　□袋物科

■國民道德　■教育學　■裁縫教授法　■洗濯色染　▲檢定試驗問題解　▲質疑應答等

■裁縫だつて學校で教へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業と同樣の實力を充分に授く。

■小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初歩より高等裁縫迄教授す。

■完結の後は各科別に綴れば、それ〳〵立派な大部な書物となり、常に机上にありて教導す。

■良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を頼りに勉強し、教科書無しに地理や歴史を習ふ様な不便がなくなる。

內容見本附規則郵券貳錢送れ

教育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路

日本裁縫教育會

電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA